

第4回 管理運営部会 運営への市民参加について

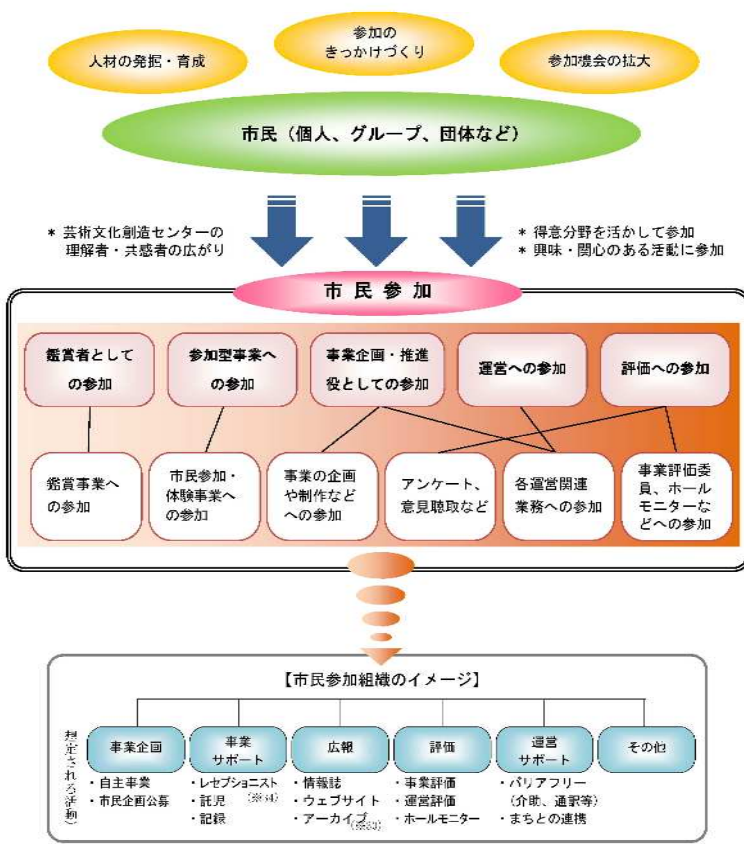
10月19日、小田原市市民会館 第6会議室にて、「芸術文化創造センター管理運営部会 第4回市民ワーキング」が行われました。市民ワーキングメンバー15名、(女性6名、男性9名)、設計者である新居千秋都市建築設計から1名、市の事務局スタッフ10名、その他の事務局スタッフ2名、専門委員会から松森委員、井上委員、合計30名が参加しました。市民ワーキング「第4回管理運営部会」の当日の様子や、皆さまから示されたご意見をご紹介します。

第4回管理運営部会概要

～運営への市民参加について～

「市民参加」には、「鑑賞への参加」「事業への参加」「運営への参加」「管理への参加」「評価への参加」「その他の市民参加」に分類し、それぞれにどのような市民参加が考えられるか、自分はどういう形で参加したいか、について議論を行いました。

■市民参加のイメージ (芸術文化創造センター管理運営基本計画より)



～ 松森委員レクチャー 芸術文化創造センターで行われる事業について ～

【事業の分類について】

貸館事業: 芸術文化創造センター(以下センター)は、活動内容がセンターの目的から逸脱していないかを検討した上で、施設の空き状況を確認し、貸出を許可する。また、利用者より使用料を徴収する。公演の収支は借り手(主催者)の責任となる。

自主事業: センターが自ら主催し、センターの目的を達成するために、意図を持って行う事業。公演の収支は主催者であるセンターの責任となる。

貸館事業	営利公演	プロモーターやプロのオーケストラなどが施設を借りておこなう公演 【例:オーケストラ定期公演、商業演劇公演など】
	アマチュア公演	アマチュアの団体や音楽教室などが施設を借りて行う公演 【例:アマチュア団体の公演、教室の発表会など】
自主事業	自主事業(買い公演)	プロモーターやプロの団体が用意する企画・プログラムを購入する事業 【例:公演、コンサート、演劇、歌舞伎など】
	自主事業(オリジナル企画)	施設がオリジナルの内容を企画する事業 【例:公演、ワークショップ、アウトリーチ、美術企画展など】
	制作事業	施設がプロと一緒にゼロから企画・制作する事業 【例:市民オペラ、市民ミュージカル、市民演劇など】

【市民参加について】

- 参加には、センターの内側でスタッフ・当事者として参加するか、外側から参加するか、二つの道があります。参加した市民が小田原の19万人の市民にどう広げられるかが課題となります。センターの運営に参加する市民が、鑑賞するだけの市民や活動を傍観している市民に、積極的に働きかけていく必要があります。
- 内側からセンターを支える市民の活動のために「創造スタッフ室」があります。どんな参加の仕方があられるか、それぞれで考えてみましょう。

1 班

～主な発表内容～

- 市内に約250ある自治会を活用して、センターの広報活動を行う。自治会ごとに文化委員を指名。回覧板での広報閲覧など。また、文化委員には報酬を支払う。
- 市民による文化情報の発信として、イベントニュースを市民が作る。
- 市役所文化部のサポート部隊を編成する。
- ホールの良い席をプレミアムシートとして販売する。
- 企業と連携して、年間シートの設定や、諸室のネーミングライツを行う。企業の社会貢献活動と連動させる。
- VIPルームやVIPシート、バースデーカードなど、サービスに付加価値をつけ、プレミアム感を持たせる。
- 若者専用の招待シートをつくりスポンサーが料金を負担する。

井上委員からのコメント

- 自治会の文化委員という発想は、他のホールで聞いたことがなく面白いと思います。自治会が責任をもってセンターに関わるのが大事です。
- 席の一部に企業年間シート、子ども招待など、そのような仕組みがあるといいですね。

松森委員からのコメント

- 市民から積極的に企業に話を持ちかけると効果があります。特にネーミングライツや年間シートは積極的に取り入れると良いでしょう。
- 文化委員の仕組みは、是非取り入れたいですね。回覧板でクーポンを配布するなどの活用方法も考えられます。



2 班

～主な発表内容～

- まずは、「鑑賞」として観に行くことが大事。子どもや大人など、大勢を巻き込んだ企画が、鑑賞のきっかけとなる。
- 小田原市民の中から、ワークショップの講師などを選んだり、センターの自主事業として、市民企画を採用し予算(助成)を付けてほしい。
- 営業・広報の市民チームをつくる。
- ホールの管理には専門的知識が必要。市民はサポートまで。
- 「このセンターで自分ができること、やりたいこと」それぞれが考えていく。
- 3年にわたり市民ワーキングを行っているが、具体的な成果が見えず、もやもやとした思いがある。具体的な行動に移す時期なのではないか。

井上委員からのコメント

- センターを魅力ある場としていくためには、オープン前からしっかり考えて仕掛けを考えていかなければなりません。「今まで関心が無かった人に目を向けてもらう」ということを、市と市民が一体となってやっていく必要があります。

松森委員からのコメント

- 来たことがない市民に声をかけていくことは重要です。広報・宣伝の市民チームは是非実現してほしいです。
- 今は議論をしている段階ですが、その先に成果が見えると、もやもやとした思いは無くなると思います。来年あたりからは、具体的な行動に移していけるといいですね。



皆さまのご意見（ワークシートのふせん内容）を全て掲載します

ご意見は基本的にワークシートのとおり掲載していますが、適宜誤字・脱字の修正を行っています。

1 班

【鑑賞への参加】

- ホールの事に全く興味のない方々に、「新しいホールができたならどんなのを見たい？」と質問すると、十中八九「演歌歌手のコンサート！」と老若男女問わず言われます。サブちゃんや氷川きよしが皆みたいそうです。
- 自主事業に地元の作家(市民)をもっとつかうということ
- オペラ公演の買取事業の充実

【事業への参加】

- 野外イベントを毎月開催する、野外屋外ステージをつかってコラボする(市民フリーステージ)
- オペラ入門のための歴史背景や人物心理を事前に解説する文章作り
- 企業市民も参加してほしい。福利厚生部門とのリンク
- ロビーコンサートを市民で運営する。
- 座付室内合奏団(市民)の設置
- 地元企業相模信金のお客様サービスの演歌大会とのタイアップ
- 地元若手芸術家の育成・充実 ジャンルを超えて、世代を超えて交流できるイベント、公募・無審査のアンデパンダン展 後日に文化芸術フェスティバル
- 展示については、美術館 ギャラリーも差がないものです。国立新美術館(六本木)がよいですね

【運営への参加】

- イベントめぐりシャトルバス
- ダブルベッカーのようなシャトルバスをセンターが持つ
- 記録写真・ビデオの撮影・録画・DVD作成 販売
- 良い舞台写真を撮る記録部隊があるといい
- 市民による文化情報の発信 = 新聞部があるといい。イベントニュースを市民がつくる。
- 録音が好きな人が公演やイベントの録音をして記録していく
- 自主企画事業の自治会ネットの活用展開、情報の流れづくり
- 市のセンター委員を自治会ごとに指名する。市文化委員
- 回覧板で「ホールだより」として1枚ペラにまとめたものを回してもらえ
- 小田原市内の駅 32 を活かす、告知スペースをつくってもら。メンバーが張替える

【管理への参加】

- 市役所文化部のサポート部隊の編成(忙しすぎる)
- 文化サポーター(レセプション、場内アナウンス)の活動拠点
- HPの作成

【評価への参加】

- 評価は、一事業単位に行うべきであろう。特にその事業に市民が参加していないときは必要であると思う

【その他の市民参加】

- 駅構内に電子掲示板を設置
- オケビ資金集め:年間シートを売る、割引券、プレミアムシート
- 年間シートとかネーミングライツシートとかルームとかを作る
- 年間~数年単位でシートに名前が入ったプレートを入れられる 資金調達へ
- 会議室、スタジオなどのネーミングを売る、資金稼ぎ(例:富士屋の間)
- 企業の社会貢献とセット「企業シート」(例:SONYシート、学生シート、学校)
- 友の会参加、VIP 待遇とかバースデーカードなど、可児のアーラみたいなお金を取りながらプレミア感を持たせる
- 若者用の招待シートを作り、スポンサーがその料金を負担するような支援シート
- バイトだ、バイト。バイトをやとう。ボランティアじゃなくお金をもらうことで責任感が生まれるから
- FMおだわらでホールの番組を毎週放送してお知らせしたり、出る人にゲストで来てもらったり
- 文化ってオペラとかクラシックとかミュージカルだけなの？文化の敷居を下げてください

2 班

【鑑賞への参加】

- 集客を増やす、観客の質を高める為に何が必要か？自分が行きたいと思うイベントはどんなもの？何があれば行きたいと思うか？
- あまりホールに足を運んだことのない方への声かけ
- 何か、仕掛けをかんがえて、劇場、アートの場に行きたくするようなキラコンテツを出していく！
- 新しい観客:子ども、普段ホールに行かない大人
- 知り合い、家族が出演している舞台を鑑賞のきっかけとする
- お客さんを巻き込むようなイベント=ワークショップ的なイベント(身体と心を使うような)が楽しめるかも？
- 大勢の人間を巻き込んだ企画

【事業への参加】

- 動員する為の営業・広報に動く市民
- 出演したい！！オペラ・コンサート・ミュージカル・演劇~甲冑ダンス！！
- 市民オペラ、市民ミュージカル 制作、指導者、出演者として参加します！！
- 参加したい 演奏会の企画をたてる
- 参加者の参加したい曲選び、全体予算と個々の催事の種分け
- 企画への参加、運営への参加、とにかくおもしろいこと
- フラッシュモブを行う。ワークショップ参加
- ダンス・バレエ・うたのワークショップの講師を市民から！！
- 条件を問わない助成会をつくってほしい
- 平成 27 年度以降の事業に、いくつか市民企画を採用し、文化政策課の予算をつけるようにしてもらいたい
- 自主事業として市民企画に市の予算をつける。「ありがとう市民会館」「オープン企画」中長期的な計画で
- 市民有志の団体が使用するの、良いことなので、使い易さは必要であろう(各種条件の問題)
- 市民参加について、助成金をどの様につけていくのか？
- 映画を撮るワークショップ

【運営への参加】

- 舞台の運営スタッフとしてのワークショップに参加したい
- 「資金調達」はどんな主催者にも重要な問題。それがないと企画が実現できない…。どうする？
- 必要なセクションの一覧を出して、広く募集してそれぞれのメンバーのチームを作り上げる(コストがかかる？ボランティア？)
- ワorkshopルーム等の部屋の使用については無料なのか？(会議・企画)
- 小田短 イベント時の子どもたちへの対応ボランティア 福祉大 障がい者の方々への対応をボランティア 授業などして
- ランニングする上で、必要なセクション、人数、予算を組み立てていく。それがないと全体が見えない。

【管理への参加】

- 植木のコンテスト、植栽
- 管理は専門的なマンパワーが必要であろう。一般市民は、サポートはできるかも？

【評価への参加】

- モニタリング(収支をはっきりさせる)
- 市民評議員 市民目線と専門家目線
- 何を持って「評価」とするのか？いわゆる「レビュー」はセンターが発信する「ニュース」にアップすれば良い(それを担当するチームを作って)

【その他の市民参加】

- この施設を使って様々なイベント、ライブ、パフォーマンスアーツ、アート etc の企画、制作 etc を担当することはできる。ぜひやりたい！
- 自分は何を実際に行動して、何を得るか。自分で納得した上で参加する、覚悟が出る
- (自分ができること)映画の上映、ショートフィルムの定期的な上映、市民ホールをミニシアターに

今後のワーキング予定 ~ 管理運営実施計画策定までの流れ ~

日時	概要
第1回*終了 7月20日	【管理運営】事業と市民参加1 ~ 自主事業について ~ *主に展示系の事業について
第2回*終了 8月17日	【管理運営】事業と市民参加2 ~ 自主事業について ~ *主に舞台系の事業について
8月26日 *終了	フィールドワーク *厚木舞台アカデミー(子どもたちによるミュージカル)稽古見学
9月10日 *終了	第2回 整備推進委員会 管理運営分科会 *ワーキング1.2のまとめ
9月14日 *終了	フィールドワーク *小田原市民会館大ホール、舞台周りの視察
第3回*終了 9月14日	【管理運営】事業と市民参加3 ~ 市民参加創作物業について ~ *小田原市でどのような市民参加事業が求められているか
第4回*終了 10月19日	【管理運営】事業と市民参加4 ~ 運営への市民参加について ~ *運営や市民参加事業に、市民中間支援団体がどのように関わるか
10月22日 *終了	第3回 整備推進委員会 管理運営分科会 *ワーキング3.4のまとめ

日時	概要
第5回 11月9日	【管理運営】管理運営ルール1 ~ 施設の管理運営ルール ~ *予約方法や優先利用、減免の考え方について
第6回 11月23日	【管理運営】管理運営ルール2・3 ~ 諸室の管理運営ルール ~ *第2回設計案をうけ、管理運営ルールを考える。
第7回 12月14日	*ホール、ギャラリー、スタジオなどの施設ごとに管理運営ルールを考える。
12月17日	第4回 整備推進委員会 管理運営分科会 *ワーキング5.6.7のまとめ
第8回 1月18日	【管理運営】管理運営計画のまとめ *管理運営実施計画策定にむけて、これまでのまとめ。
2月 (未定)	○ 基本設計(最終案)発表 ○ 市民説明会
3月 (未定)	○ 基本設計決定 ○ 管理運営実施計画策定 ○ シンポジウムの開催(予定)